

河南町の人口の現状と 国立社会保障・人口問題研究所による人口推計

平成27年8月7日

河 南 町

目次

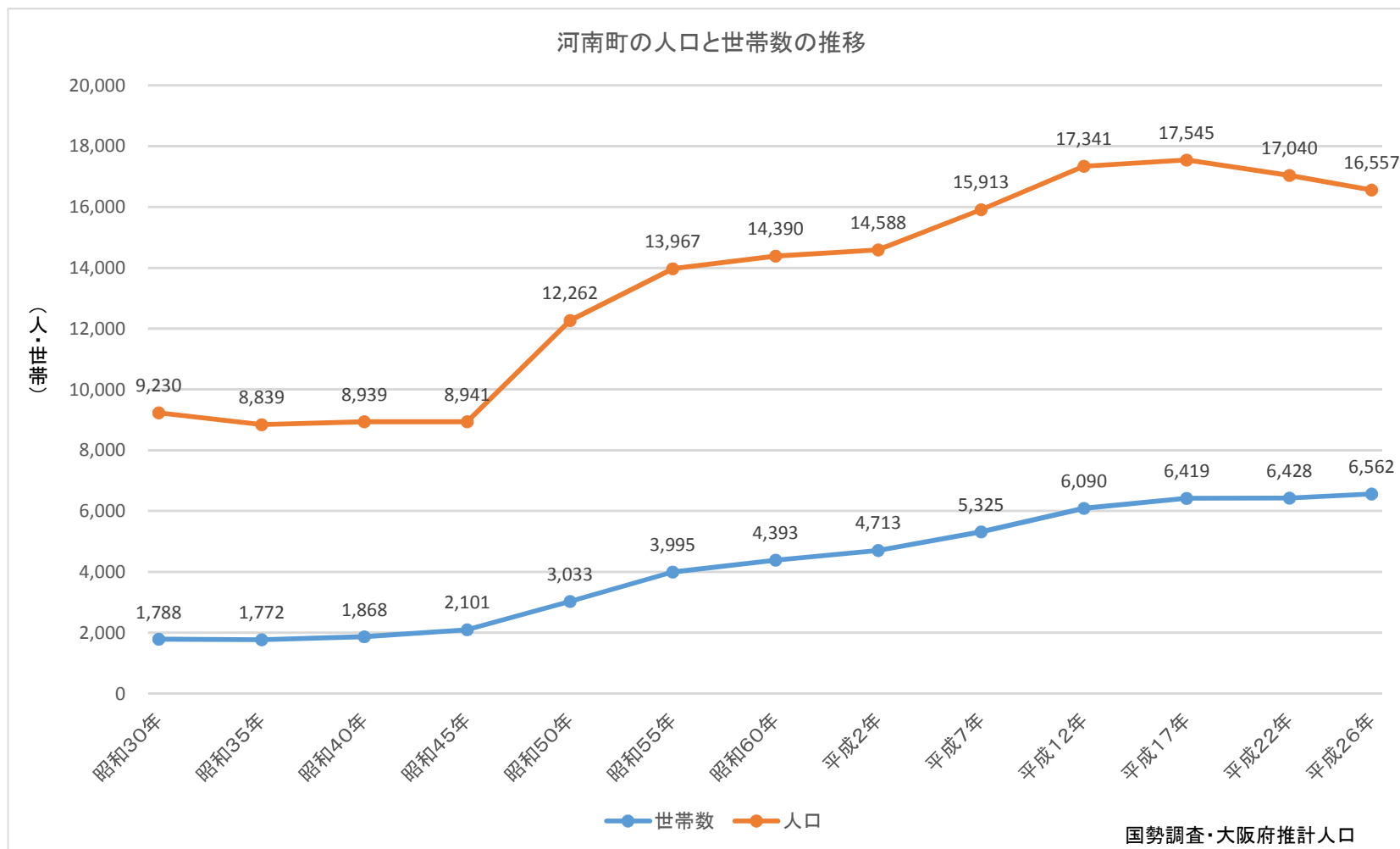
1. 人口の現状分析

- 河南町の人口と世帯数の推移
- 出生・死亡数、転入・転出数の推移
- 出生の動向

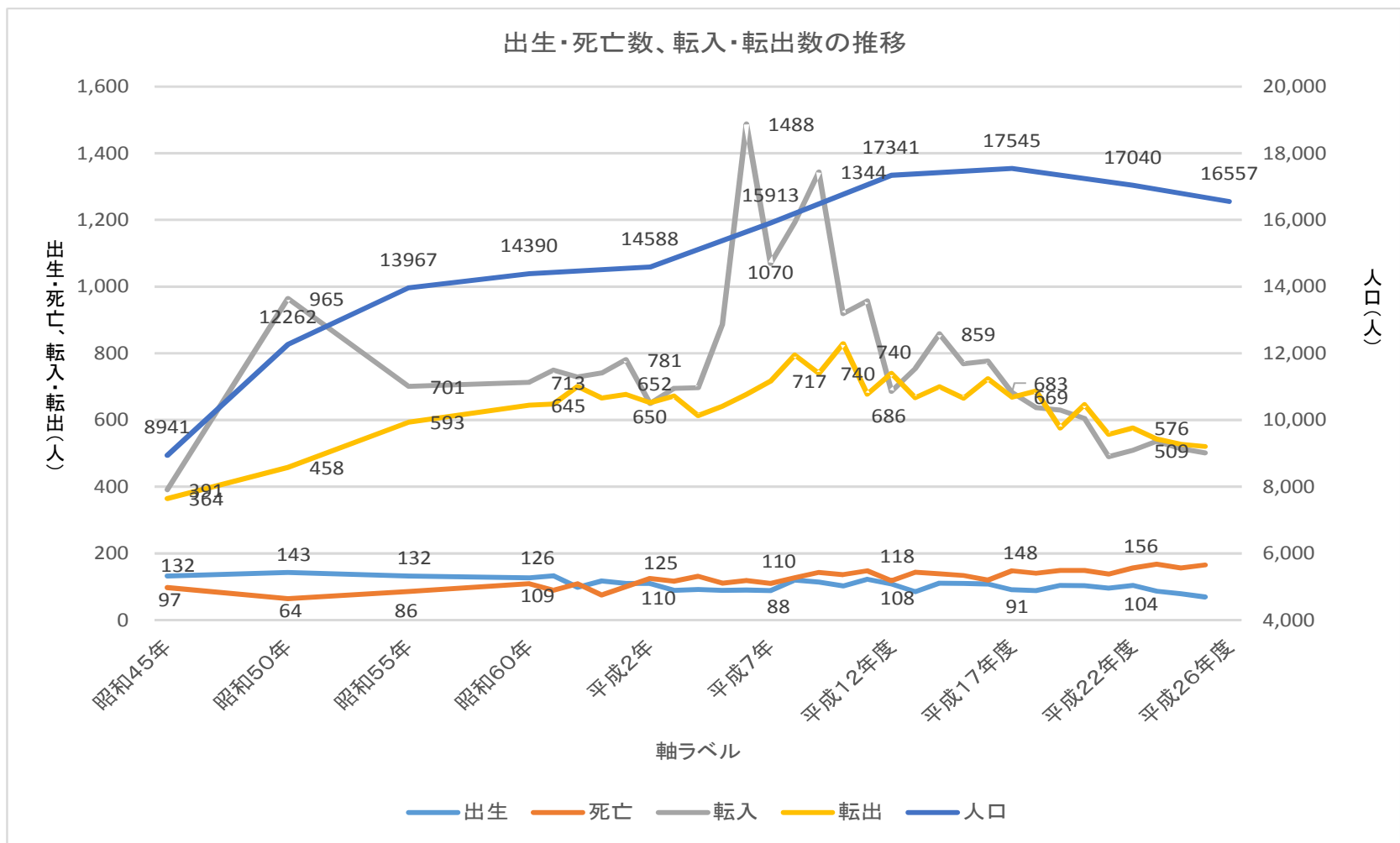
2. 河南町の人口推計

- 河南町人口の推移
- 3区分別人口割合の推移
- 女性人口の推移
- 男女別純移動数(2005年→2010年)

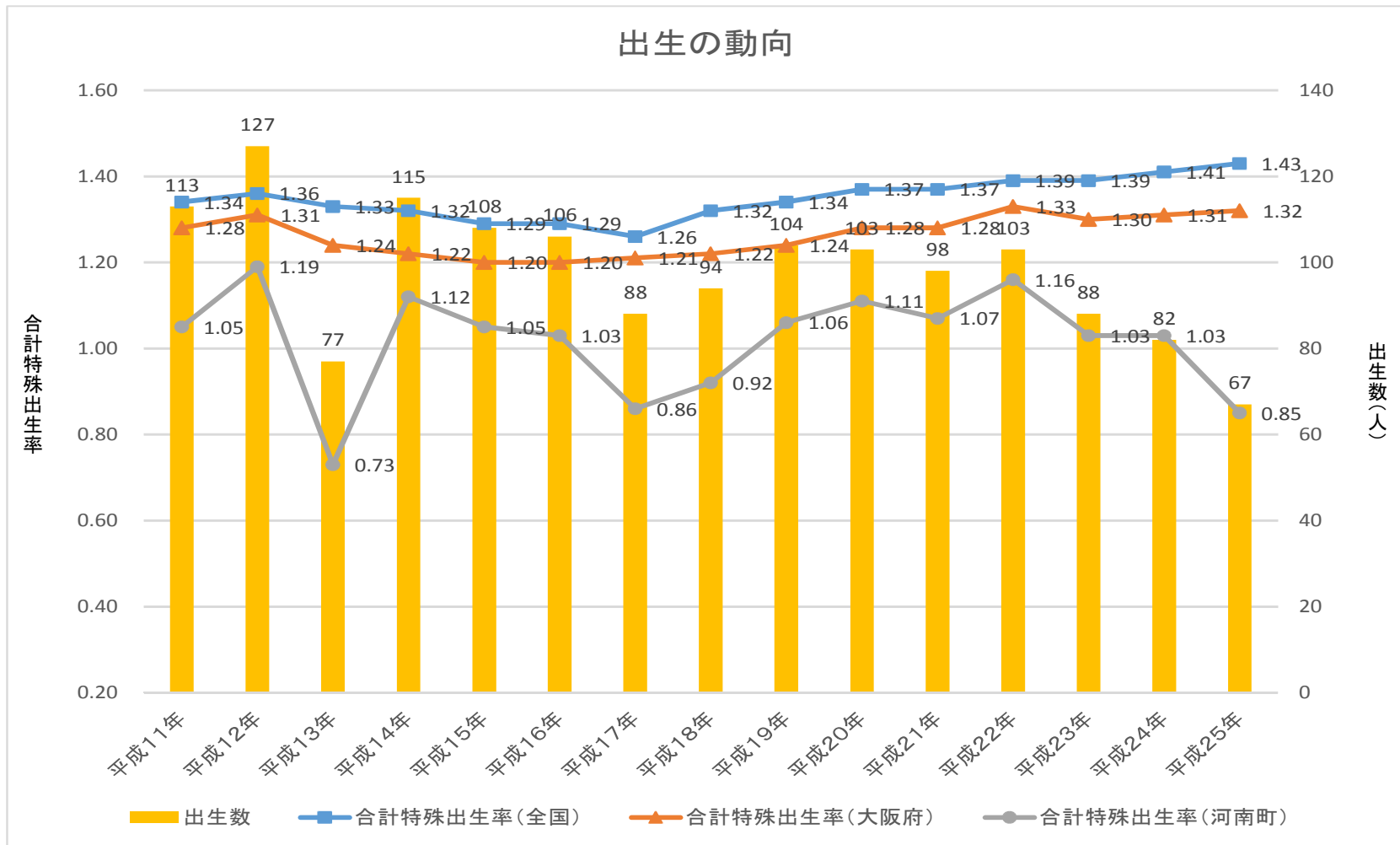
1. 人口の現状分析



河南町の人口は、昭和45年ごろから急増。平成17年の17,545人をピークに減少に転じている。世帯数は、増加している。



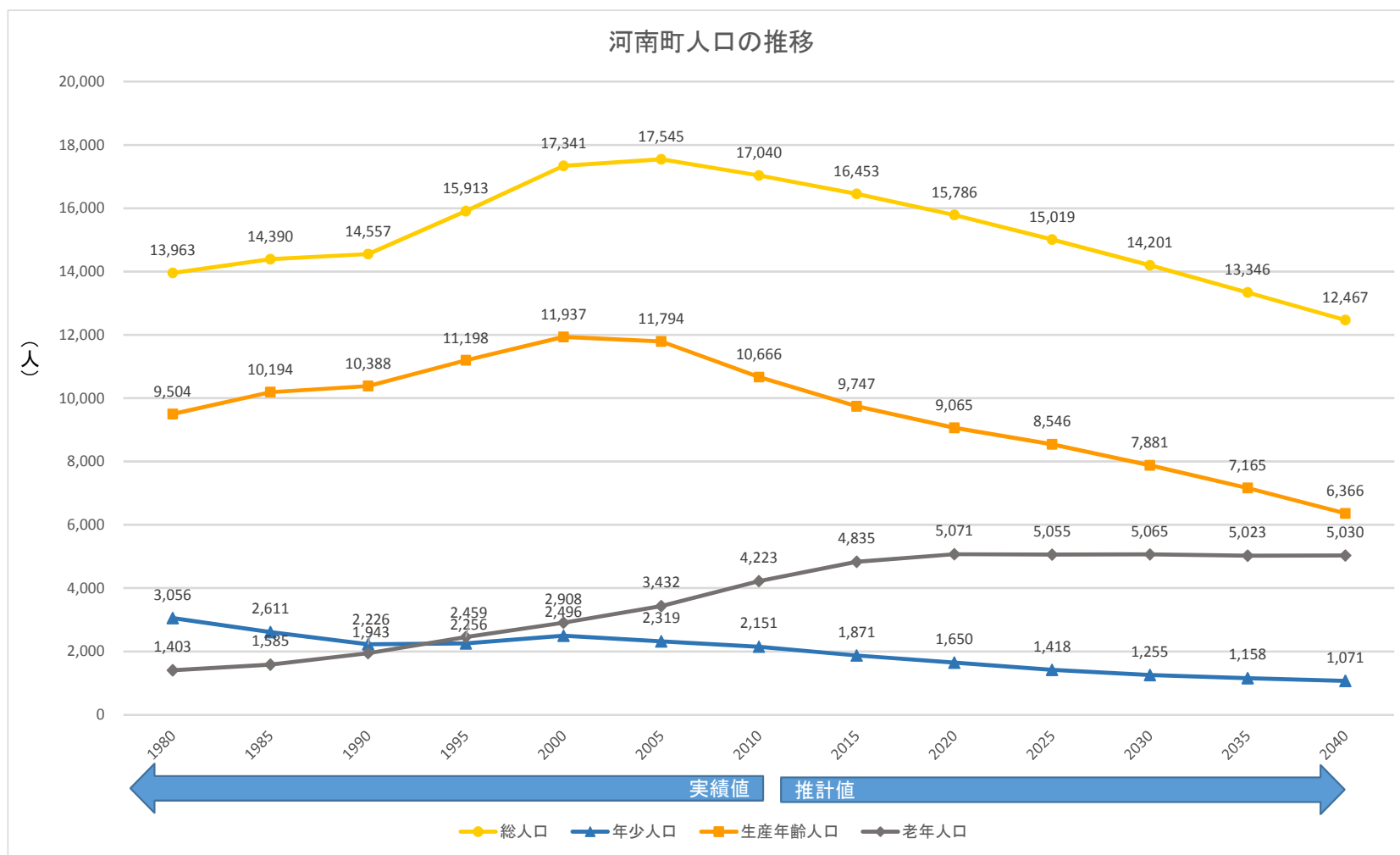
人口増の主な要因は社会増(転入超過)であることがわかる。住宅開発のたびに人口が急増するが、入居が落ち着くと減少に転じている。
 自然増減は平成2年以降、社会増減は平成20年以降減少に転じている。



大阪府人口動態調査・住民生活課

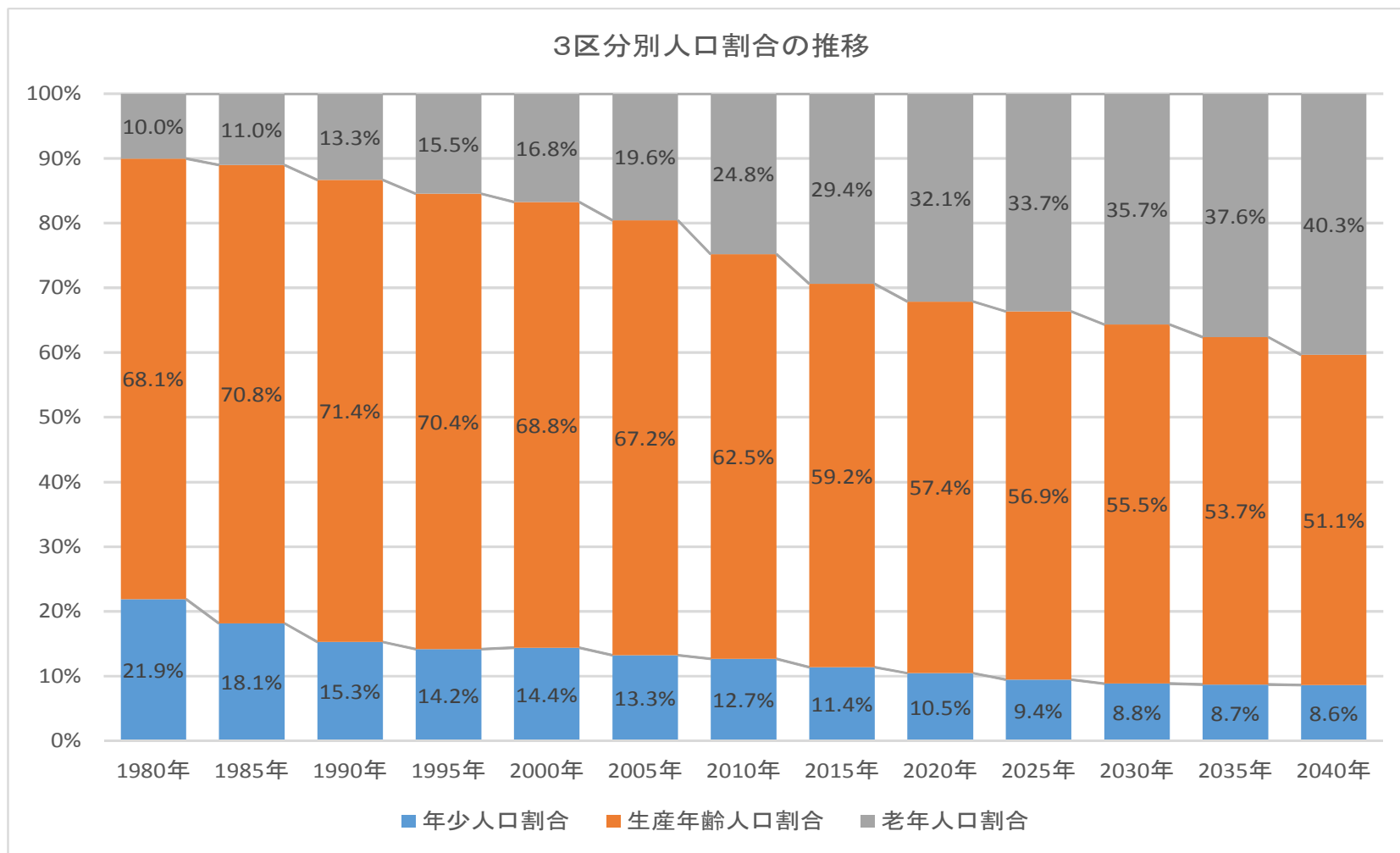
毎年の出生数は、多少の変化はあるが平成22年までは概ね100人前後で推移していた。平成23年以降急激に減少している。合計特殊出生率は全国・大阪府より下回っている。全国・大阪は近年増加傾向にあるが、河南町は下がっている。なお、人口維持のためには2.07必要。

2. 河南町の人口推計



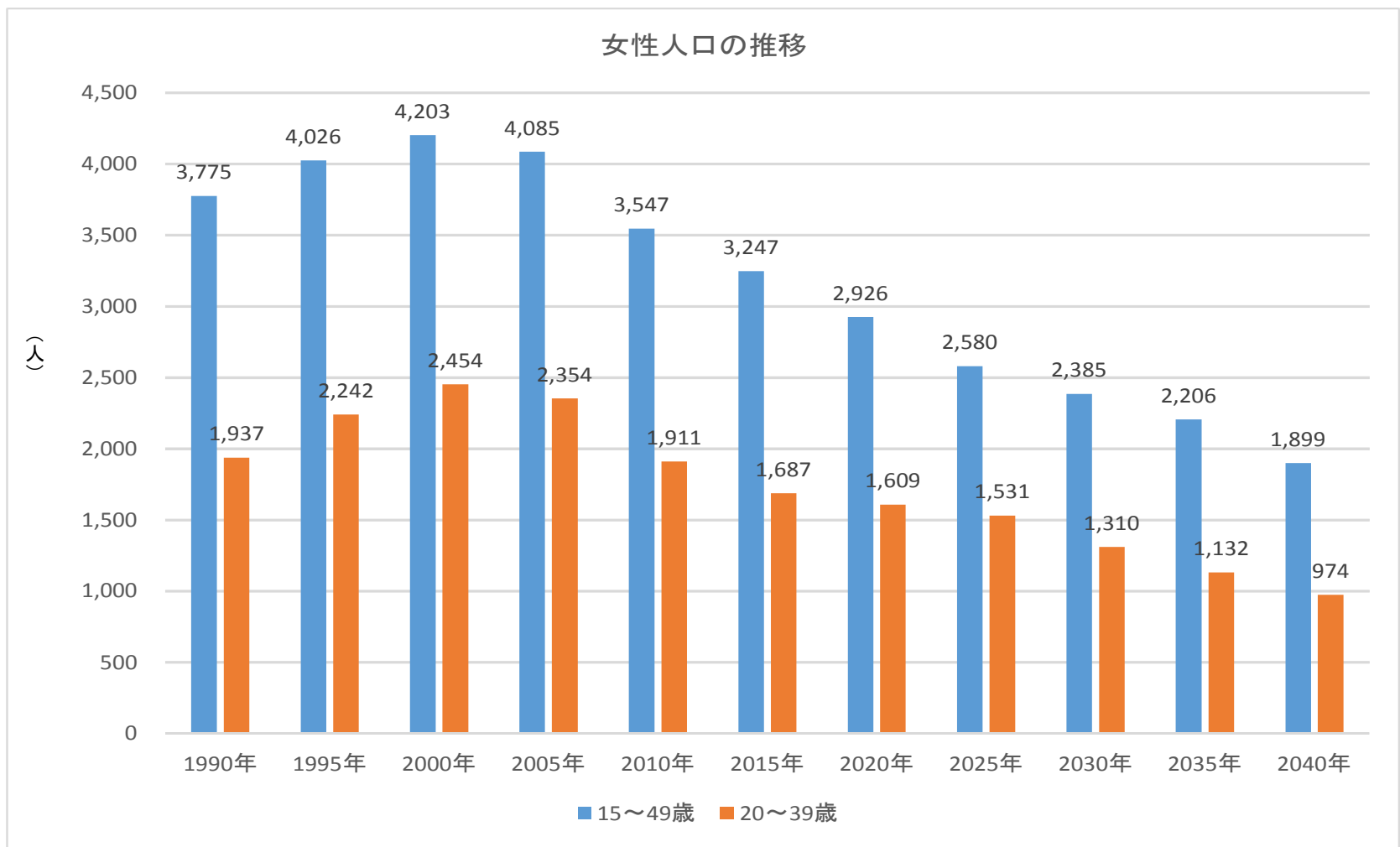
国勢調査、社会保障・人口問題研究所推計値

国立社会保障・人口問題研究所によると、平成52(2040)年にはピーク時の7割、12,500人程度に総人口は減ると予想されている。



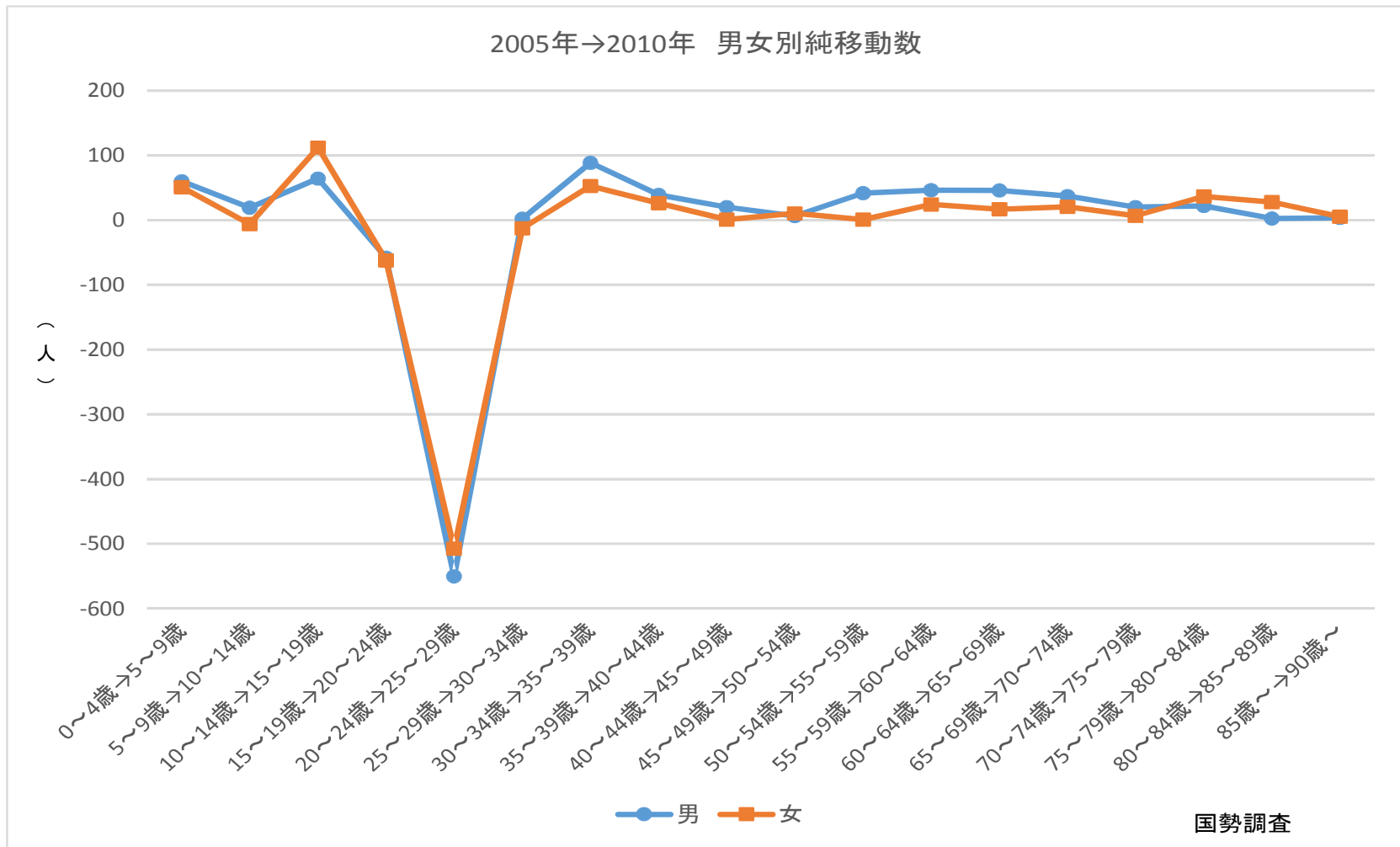
国勢調査、社会保障・人口問題研究所推計値

年少人口割合は減り続け、老年人口割合は増え続けている。
 平成52(2040)年には老年人口の割合は40パーセントを超える見込みである。
 生産年齢人口比率は平成2(1990)年以降減り続け、平成52(2040)年には51パーセントになる見込みである。
 平成52(2040)年には高齢者1人を1.3人で支える計算となる。



国勢調査、社会保障・人口問題研究所推計値

平成12(2000)年から平成52(2040)年にかけての生産年齢人口の減少率が47パーセントであるのに対し、15歳から49歳の女性人口の減少率は55パーセント、20歳から39歳の女性人口にいたっては60パーセントも減少する見込みとなっている。女性人口の減少は、出生数の減少につながる。



2005年から2010年にかけての純移動数である。男女とも19歳以下は転入超過であるが、20～24歳、25～29歳になる際に転出超過となっている。特に25～29歳になる際には男女とも500人以上の転出超過となっている。